



平成 23 年 7 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社サーラコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 神 野 吾 郎
(コード番号 2 7 3 4 東証・名証第一部)
問合せ先 総合企画部広報・ブランドグループ
マネージャー 奥 田 健
(TEL. 0 5 3 2 - 5 1 - 1 1 8 4)

第 2 四半期連結業績予想数値と実績数値との差異に関するお知らせ

平成 23 年 1 月 13 日に公表した平成 23 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	66,000	1,450	1,350	650	16.90
実績値 (B)	69,360	1,493	1,534	1,144	29.77
増減額 (B-A)	3,360	43	184	494	—
増減率 (%)	5.1	3.0	13.7	76.1	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 11 月期第 2 四半期)	64,597	1,318	1,311	644	16.76

2. 差異の理由

売上高につきましては、LP ガス、石油製品の原料価格に合わせた販売価格の改定や、設備、土木分野を中心とした完成工事の増加などにより、予想数値を上回りました。

利益面では、原料価格の上昇などがありましたが、経費の削減に努めました結果、営業利益は予想数値を上回りました。また、関連会社の業績の回復が早まり、持分法による投資利益が増加した結果、経常利益も予想数値を上回りました。四半期純利益は、「サーラプラザ浜松」の耐震補強工事に伴う補助金の確定を受けて、補助金収入を特別利益に計上したことなどにより、予想数値を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴い、電力供給問題をはじめとする取引先の生産活動への影響など、不確定な要素を含んでおりますので、平成 23 年 1 月 13 日に公表した業績予想は据え置くことといたしました。

以 上